

# 広域連合だより

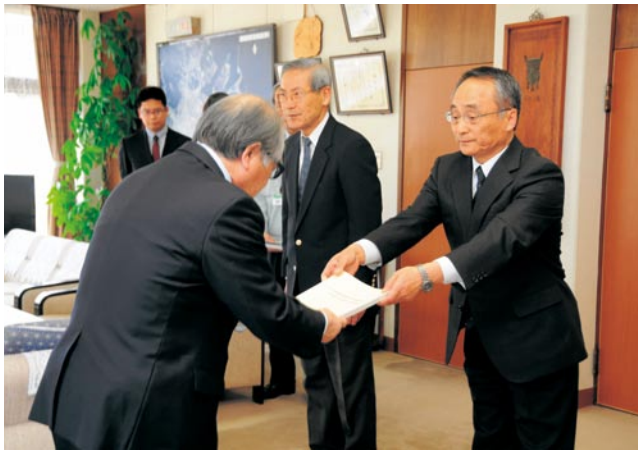
構成団体 日向市 門川町 美郷町 諸塚村 椎葉村

【第25号】

平成25年3月発行  
日向東臼杵南部広域連合  
〒883-0034  
日向市大字富高2192  
TEL(0982)53-3401  
FAX(0982)52-7889

「バイオマス資源有効利活用とごみ減量化に向けたごみ収集方法に関する共同調査研究事業」

## ごみ収集体制統一化を推進



調査研究委員会の川村委員長による提言の様子(平成25年3月21日)

圏域内のごみ処理のあり方について検討を行っていた「バイオマス資源有効利活用とごみ減量化に向けたごみ収集方法に関する調査研究委員会」(委員長・川村修宮崎大学名誉教授)は、3月21日、黒木健二広域連合長に、清掃センターの長寿命化とごみ処理経費の軽減に向けてごみ収集体制の統一化を推進するよう、提言しました。

黒木健二広域連合長は、「今後の圏域内のごみ減量化や資源化施策に有効に活用し、圏域の地域活性化につなげていきたい。」と述べました。

提言を受け、広域連合では、平成25年度から「ごみ処理広域化事業」として、ごみ減量化施策を実施していく方針です。

調査研究委員会が連合長に提言

### ●循環型社会形成の将来ビジョン

生ごみ等のバイオマス資源有効利活用は、ごみ減量化に大きく貢献することが期待できることから、バイオマス資源を確保するため、圏域全体での統一的なごみ収集方法の検討が必要になっています。このことを踏まえ、本圏域の循環型社会形成に向けた将来ビジョンを以下のとおりとします。

#### バイオマス資源の有効利活用による「広域的循環型社会」の形成

- 4R活動(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)等を通じ、家庭や地域社会が担い手となって、廃棄物のバイオマス資源化を推進(新たに厨芥類、草木類の資源化を圏域全体で推進)
- 循環型社会形成と連動したごみ処理体制を構築し、総合的な廃棄物マネジメントを実現(清掃センターの長寿命化、効率的・効果的なごみ処理事業推進)
- 圏域内市町村の豊富な地域資源(自然、人材、産業等)を活用し、地域力向上に貢献する循環型社会を構築(新たな産業や雇用の創出を実現)

### ●循環型社会形成に向けた基本目標

循環型社会形成に向けた基本目標として、短期・中期・長期の3つの基本目標を設定します。各目標の達成により、広域的視点にたった廃棄物処理行政システムの構築と広域的循環型社会の形成が図られます。

#### 短期目標

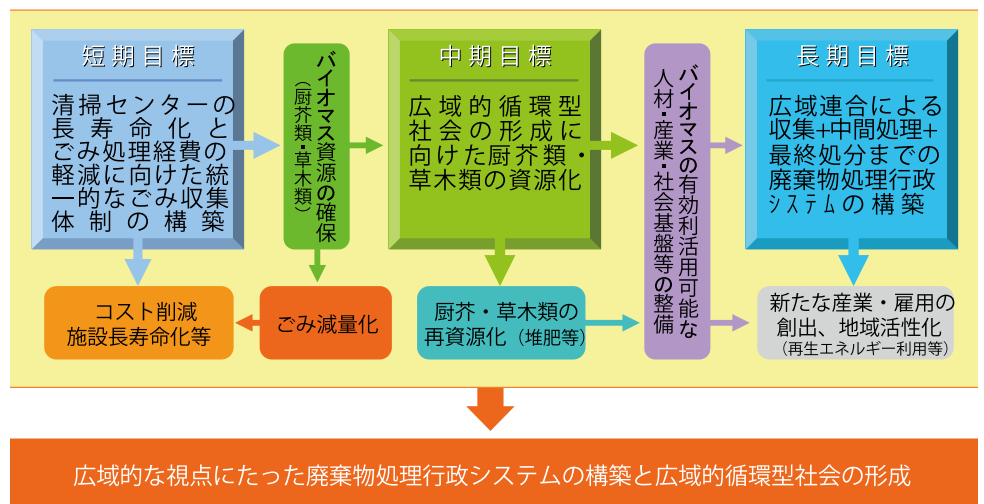
清掃センターの長寿命化とごみ処理経費の軽減に向けた統一的なごみ収集体制の構築

#### 中期目標

広域的循環型社会の形成に向けた厨芥類・草木類の資源化

#### 長期目標

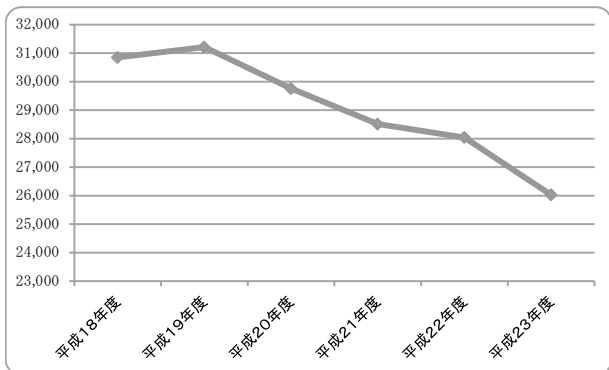
広域連合による収集+中間処理+最終処分までの廃棄物処理行政システムの構築



広域的な視点にたった廃棄物処理行政システムの構築と広域的循環型社会の形成

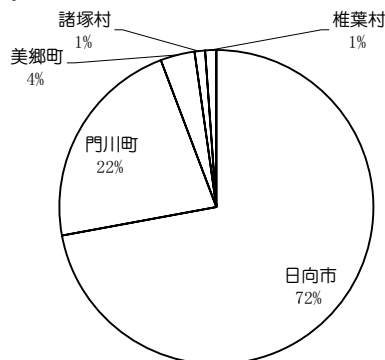
●ごみ処理の現状

清掃センター焼却処理量の推移（単位：トン/年）



過去6年間の清掃センターの焼却処理実績量では、平成19年度の約31,200トンが最も多く、直前年度の平成23年度実績は、対平成19年度比約17%減の約26,000トンまで減少しています。

平成23年度の清掃センター可燃ごみ搬入量は、資源物400トンを含む合計約26,400トンであり、日向市（約72%）、門川町（約22%）の1市1町で、全体の約94%を搬入しています。美郷町（約4%）、諸塚村（約1%）、椎葉村（約1%）の1町2村の搬入量は、合計で約6%です。



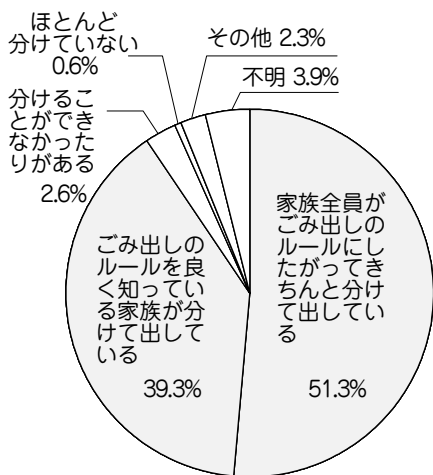
清掃センター可燃ごみ搬入量の割合

●アンケート調査

一般廃棄物の排出・処理の現状、今後のごみの収集及び減量化に対する意識・意向、地域環境の保全及びバイオマス資源の有効活用に対する意識・意向等について圏域内市町村3,000世帯を対象にアンケート調査を行いました。

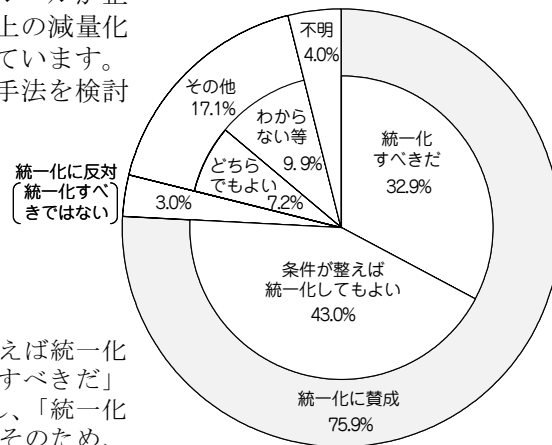
【回収票数：1,081票 回収率：36.0%】

ごみ処理の状況



ごみの分別状況については、「家族全員が、ごみ出しのルールにしたがって、きちんと分けて出している」(51.3%)と「ごみ出しのルールを良く知っている家族が分けて出している」(39.3%)の2つが高く、両者で全体の約9割を占めており、ゴミ出しルールが正しく励行されていますが、これ以上の減量化は困難としている世帯も多くなっています。そのため、新たなごみの減量化や手法を検討する必要があります。

ごみ収集方法の統一化については、「条件が整えば統一化してもよい」(43.0%)が最も高く、「統一化すべきだ」(32.9%)と合わせると全体の7割以上に達し、「統一化すべきではない」とした世帯は3.0%でした。そのため、分別方法などの新たなルールづくりや広域連合と市町村の役割分担の検討などごみの減量化やごみ処理経費の軽減のため、早期に統一化する必要があります。



ごみ収集方法の統一化に係る意向

●バイオマス資源の状況（圏域内市町村の搬入ごみの中で、生ごみ・草木類量の推計）

調査により、平成23年度搬入ごみ中の厨芥類、草木類量は、推計で、厨芥類が約14,370トン、草木類が約769トン分別され、資源化により清掃センター搬入量は約10,892トン（平成23年度実績約26,000トン/年の約42%）まで削減されます。また、分別した厨芥類や草木類を堆肥化した場合の堆肥換算量は4,106トン/年となり、調査により、耕作放棄地等での使用が可能であることから、資源化により有効に利活用され、資源循環型社会の構築が可能となります。

	H23可燃ごみ重量 (トン/年)		※内訳：ステーション排出時推定値 (厨芥類含水率80%)		組成 (%)		
	日向市 ※H23ステーション アップリック分析値から算出	門川町 ※ステーション排出時推定値 (H22旧清掃工場分析値 ベ-ス)から算出	美郷町 ※町・収集業者ヒアリング 値から算出	諸塚村 ※椎葉村と組成を同じ として算出	椎葉村 ※ステーション排出時推定値 (H17旧クリーンセンター分析値 ベ-ス)から算出	圏域内市町村計	圏域内市町村計
厨芥類	11,304	2,608	429	10	18	14,370	55.2
草木類	690	64	14	0	0	769	3.0
ビニール・合成樹脂・ ゴム・皮革類	2,891	1,060		27	49		
紙・布類	2,668	1,677	490	172	313	10,892	41.8
不燃物類	1,101	47		0	0		
その他	0	398		0	0		
合計	18,654	5,854	933	209	380	26,030	100.0

# 平成25年度予算が成立しました。

— 平成25年度当初予算額 7億8千万円 —

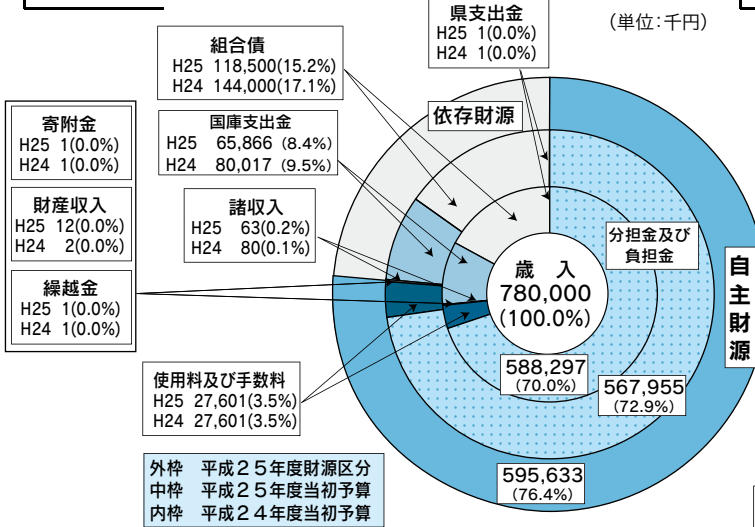


平成25年度予算は、「第三次広域計画」に掲げる基本方針に基づいて、確実かつ効率的・計画的な事務の推進を図り、構成団体の住民の福祉の向上を目指すため、長期的な資金計画に基づく効率的な予算編成としました。

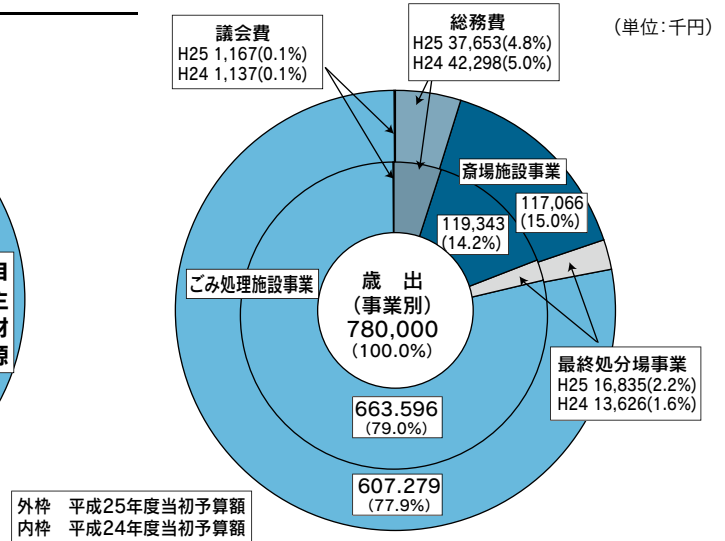
平成25年度の予算額は、歳入・歳出とも7億8千万円となりました。この予算を24年度当初予算と比較すると、6千万円（7.1%）の減額となっています。これは主に、廃棄物処理施設（清掃センター）基幹的設備改良事業費の減によるものや（財）地方自治研究機構との共同調査研究事業の終了による負担金の減によるものです。

また、25年度から、新たにさらなるごみの減量化を推進するため「ごみ処理広域化事業」を新設しました。

## 歳入



## 歳出



## 平成25年度の主な事業

### ■ごみ処理広域化事業（新規）

平成24年度に実施した「バイオマス資源有効利活用とごみ減量化に向けたごみ収集方法に関する調査研究」の結果を今後のごみ減量化施策に活用し、ごみ焼却施設の延命化とごみ処理経費の軽減、低コスト化、効率化を推進します。

今年度は、広域的なごみの減量化、資源化に向けて統一した収集体制を構築するため、広域的な分別収集計画の策定やバイオマス資源化のモデル事業の検討を行います。



### ■東郷霊苑管理運営中期計画に沿った維持補修工事

圏域内の火葬業務を衛生的かつ円滑に運営するため、年次的に整備を進め施設の機能維持を図ります。

◎主な工事

[火葬施設維持補修工事]

- ①熱交換器 C系取替工事
- ②誘引排風機 C系取替工事



### ■廃棄物処理施設基幹的設備改良事業

国の循環型社会形成推進交付金制度を活用し、CO<sub>2</sub> 3%削減を目標とする施設の主要設備の全面的な改良を行い、延命化を図ります。

【日向東臼杵南部広域連合清掃センター長寿命化工事（第2期）】工期：平成24～25年度

◎主な工事

- ①1・2号バグフィルタ改良工事
- ②2号空冷式減温装置改良工事
- ③1・2号混練機改良工事

# 広域連合 議会だより

## 平成24年第3回議会

平成24年11月27日、平成24年第3回議会が開催されました。

提案された議案は、2件でした。

### 平成24年度補正予算について

補正額は、2,028万6,000円の増額で、補正後の歳入歳出予算の総額は、6億2,023万5,000円となります。

これは、可燃ごみ総搬入量の減少とごみ組成の変化に適正に対応し、効率的な施設の運営管理と円滑な廃棄物処理行政の推進に努めることにより、分担金を減額することが可能なことから、委託料、需用費等について減額したものです。

### 平成23年度決算について

平成23年度日向東白杵南部広域連合歳入歳出決算額は、歳入総額10億3,658万9,033円、歳出総額は9億2,525万3,716円、歳入歳出差引額は、1億1,133万5,317円でした。

平成23年度広域連合事務事業に係る施策の成果は、清掃センター及び東郷霊苑などの各施設の機能を安定的に維持し、安心・安全な施設として適正な管理運営



を行うための基金の創設や多様化する住民ニーズに適正に対応した東郷霊苑の管理に努めてきました。また、国の循環型社会形成推進交付金を活用した清掃センター長寿命化工事の施工等により、今後の構成団体財政フレームを考慮した長期的で健全な広域連合事務事業推進のための環境整備が図られました。

また、決算審査意見書の説明では、林雄治代表監査委員から「決算書の計数は正確で、予算の執行状況は適正と認める」との報告がありました。

### 一般質問

日向市選出の柏田公和議員、門川町選出の神崎千香子議員から一般質問がありましたので、その一部を掲載します。

### 柏田 公和 議員 (日向市)

「日向地区斎場の活用について」

日向地区斎場東郷霊苑には、通夜葬儀等が出来る施設が整備されている。現時点での利用実績は、如何か。また、今後の利用拡大に向けての手法や方向性等伺う。

東郷霊苑の待合室については、利用者へのサービスの向上を図るため、斎場休苑日の見直しや高齢者用いすの配置、段差解消のためのスロープ設置などの整備を行い葬祭業者や利用者からの要望に応えてきたところである。平成23年度の利用実績は、111件、対前年度比63件の増となっており、それらの取り組みの成果が表れていると考えている。今後も、構成団体の担当部局や葬祭業者などとの意見交換や利用者からの意見を取り入れながら、利用拡大に努めていきたい。

### 答

「日向地区斎場の活用について」

現時点での利用実績は、如何か。また、今後の利用拡大に向けての手法や方向性等伺う。

### 答

東郷霊苑の待合室については、利用者へのサービスの向上を図るため、斎場休苑日の見直しや高齢者用いすの配置、段差解消のためのスロープ設置などの整備を行い葬祭業者や利用者からの要望に応えてきたところである。平成23年度の利用実績は、111件、対前年度比63件の増となっており、それらの取り組みの成果が表れていると考えている。今後も、構成団体の担当部局や葬祭業者などとの意見交換や利用者からの意見を取り入れながら、利用拡大に努めていきたい。

### 神崎 千香子 議員 (門川町)

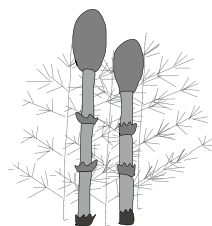
「広域最終処分場建設について」

### 問

2町2村で新たな候補地の選定をお願いしているとのことであるが、現状と今後の取り組みについて伺う。また、保留状態の門川町の建設予定地についての考え方を伺う。

### 答

今回、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村の2町2村より7ヶ所の処分場候補地が選定され、それらの候補地について、広域最終処分場建設推進協議会及び専門業者による適地評価作業を年度内に行うこととしている。保留となっている門川町の予定地については、今回実施する適地調査と併せて、再度、全体計画等も含めた比較検討を行い、今後の取扱いを検討していきたいと考えている。



### 審議した議案とその結果

#### 【平成24年第3回定例会】

(広域連合長提案)

- 平成24年度日向東白杵南部広域連合一般会計補正予算(第2号)

(可決：全員一致)

- 平成23年度日向東白杵南部広域連合歳入歳出決算(認定：全員一致)

#### 【平成25年第1回定例会】

(広域連合長提案)

- 公平委員の選任について

(同意：全員一致)

- 平成25年度日向東白杵南部広域連合予算(可決：全員一致)

# 平成25年第1回議会

平成25年2月13日、平成25年第1回議会が開催されました。  
提案された議案は、2件でした。

## 公平委員の選任について

公平委員には、日向市の山元和子さんが選任されました。

## 平成25年度当初予算について

平成25年度予算の総額は、歳入歳出それぞれ7億8,000万円です。

予算編成については、施設管理に係る中期・長期計画に基づく管理経費の平準化を図り、長期的な資金計画に基づく健全な財政運営を維持し、事務の効率化と円滑な事業推進を基本としています。

歳入は、県の交付金等の活用による新たな財源確保に努め、構成団体の負担割合に応じた分担金、基幹的設備改良事業に係る組合債、国庫補助金などです。

歳出は、焼却施設の長期的な延命化を推進するための基幹的設備改良工事の所要額、清掃センター及び斎場の管理運営費、住民ニーズに適應したサービスの提供に係る斎場の経費、新たな最終処分場候補地選定に向けた調査研究のための経費等です。



### 一般質問

日向市選出の木田吉信議員から一般質問がありましたので、その一部を掲載します。

**木田 吉信 議員（日向市）**

「さらなるごみの減量について」

平成24年度のごみ搬入量の推移では、平成19年度比6,865トンと大幅な減量化が見込まれる。さらに減量化を進めるためには、構成市町村の減量化基本施策の統一化が必要であると思われる。連合長の考えを伺う。

### 答

広域連合の各構成自治体においては、清掃センターの延命化とごみ処理経費の軽減をはかるため、ごみの減量化・資源化に鋭意取り組んでいる。

さらなる減量化・資源化を推進するためには、それぞれの構成自治体のごみ収集方法を統一化することが最優先の課題と考えている。現在、広域連合と「財団法人・地方自治研究機構」との間で共同調査研究事業を実施しており、来月末までには、ごみ収集方法の統一化など、減量化・資源化に向けた提言書をまとめることになっている。その中で有効な施策が示されるものと考えている。

### 業務委員会

平成25年1月29日に業務委員会が開催され、清掃センター基幹的設備改良工事の進捗状況やごみ減量化にかかる共同調査研究の結果等について、事務局の説明や質疑が行われました。



清掃センター ダイオキシン類等測定分析結果

物質名	単位	平成24年度		基準値	
		1号炉	2号炉		
ダイオキシン類	排ガス	n g-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.020	0.080	5
	飛灰	n g-TEQ/g	0.39	0.58	3
	焼却灰	n g-TEQ/g	0	0	3
一酸化炭素濃度	ppm	6.0	2.0	100	
ばいじん濃度	g/m <sup>3</sup> N	0.009	0.011	0.15	
塩化水素濃度	mg/m <sup>3</sup> N	150	130	700	

測定日：平成24年10月15日（1号炉）  
平成24年11月16日（2号炉）

## 施設の適正な運営管理を目指して — ダイオキシン類測定結果 —

清掃センターなどのごみ焼却施設は、ダイオキシン類対策特別措置法により、年に1回測定し、国や県へ報告することになっています。

今年度の測定結果は表のとおり、いずれも基準値を大幅に下回る結果となっています。

今後も環境に配慮した施設の運営管理に努めますので、ごみの減量化、資源化へのご協力をお願いいたします。

日向入郷圏域のごみ処理の現況と課題について、シリーズでお伝えしています。  
今回は、諸塚村のごみ対策について特集します。

### 諸塚村のごみの減量化対策

#### ○ごみ搬入量

諸塚村の平成23年度の広域連合清掃センターへの可燃ごみ搬入量は、208.7トンでした。平成18年度の可燃ごみ排出量294.2トンと比較して約30%の減となっています。ただし、ここ4年ほどの間に可燃ごみ排出量は増減を繰り返しながらも少しずつ増加している傾向にあります。これから可燃ごみ排出量を抑えていくためには、より効果的な減量化への取り組みが必要になってきます。

#### ○減量化への取り組み

諸塚村では、平成19年度から3か年計画で『ごみダイエットコンテスト』に取り組みました。平成18年度の可燃ごみ排出量を基準に、1年間でどれほど排出量を減らすことができるのか、村内の16公民館単位で調査しました。

その結果、3年間で100トンもの減量を達成し、『ごみダイエット』に成功しました。減量化を意識することでごみの排出量を減らすことができるということがわかりました。

現在、ごみ減量化への取り組みとして、高齢者を対象とした介護予防教室の中でごみの分別についての講習を行っています。平成24年度内に、村内の16公民館で資源ゴミの分別についての講習を行い、一人暮らしの高齢者の方や、普段、分別に関わる機会が少ない高齢者の方々に対して、分別の仕方を細かく解説し、分別徹底の啓発を行いました。特に、古紙類の分別が定着すれば、可燃ごみの減量化につながると考えられます。今後は、高齢者のみならず、婦人会活動や公民館活動の中で、ごみの減量化について考えて頂く場を設け、可燃ごみの中の生ごみの減量化についても効果的な取り組みを模索していきます。

今後は、可燃ごみの減量化と資源ごみの分別の徹底を推進しながら、ごみの不法投棄の禁止や野外焼却の禁止についても啓発強化し、住民の方々と協力して諸塚村の豊かな自然環境を守りながら、より良い生活環境をつくっていきけるよう努めていきます。



ごみ分別についての講習の様子

#### 編集後記

“火”は、使い方によって、日常生活をより良い環境にする。広域連合では火を使う業務が主となっているが、生活を営む上では欠かせないものである。しかし、油断すると、時間や場所をも選ばずに襲い掛かる。特に寒い時期は気をつけたい。3月は日向市や美郷町で火伏地蔵大祭も行われ、昔から生活に密着していることを伺わせる。春は新たな旅立ちの時、期待に胸を膨らませる時期でもある。何事にも初心を忘れず、チャレンジする気持ちの火（炎）は、これからも燃やし続けたいものだ。(M)



和洋室

#### 【東郷霊苑に関するお問合せ】

〒883-0034 日向市大字富高 2192 番地  
日向東臼杵南部広域連合 業務第1係  
TEL 0982-53-3401 fax 0982-52-7889  
e-mail : rengo@hyugacity.jp

◎東郷霊苑で、お通夜・葬儀ができます  
東郷霊苑には、待合室が3室（和室1・和洋室2）あり、小規模な通夜・葬儀が可能です。お通夜・葬儀・告別式・火葬まで、お葬式のすべてを同じ施設で行えるため、大変便利です。  
ご利用を希望される方は、各葬祭業者に  
お問い合わせください。

#### 【施設使用料】

・通夜でのご利用 7,350円

・葬儀でのご利用 5,250円

・通夜・葬儀でのご利用 10,500円

※なお、料金は施設使用料金のみです。

その他の葬祭費用は、含まれません。